

樹名板作製 その2（樹名板作製と利活用法）

◇作業名／樹名板作製

作業手順／Point！

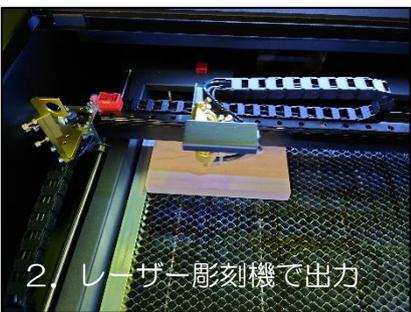
要所／Check✓



1. データ入力・スキャン

- 定型の書式に種名・学名・カナ・和名等を入力する。
- スキャンした葉っぱ写しを右の余白に貼り付ける。
- 裏面も同様に決められた字数で文字を入力する。

- 入力に誤りがないか再度確認する。
- スキャンした葉っぱ写しの絵を右の余白内に収まるように縮尺を調整する。



2. レーザー彫刻機で出力

- PDF にしたデータを読み込み、微調整を行う。
- 葉っぱ写しの絵の濃淡がわかるようにレーザーの強度を調整する。加工は3D CAD・CAM 実践科に依頼

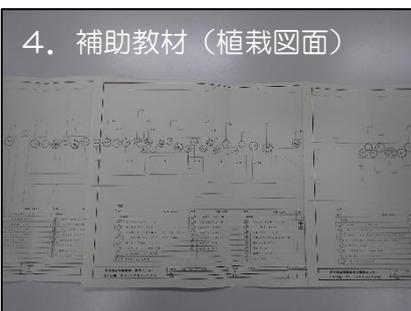
- 板の位置を調整し、レイアウトを確認する。
- 試作を行い、仕上がりを確認する。
- 選ぶ木材によって仕上がりが異なるので、微調整する。



3. 樹名板設置

- 紐を通す穴をドリルで2箇所あける。（径5mm）
- 3mm程度の紐を通して幹に巻き付ける。
- 樹名板が見える位置と高さに設置する。

- 穴の位置がずれないように治具を用いて穴をあける。
- 樹名板の板がめくれるように紐を通し取り付ける。
- もし樹名板を設置しにくい場合は枝葉を剪定する。



4. 補助教材（植栽図面）

- 樹名板を設置した緑地の植栽図面を作成する。
- 植栽されている位置を図面に落としこみ、エリアごとに樹種名と樹木番号を表にまとめる。

- 目標物などを目安に位置を正確に図面に記載する。
- 樹木リストを作成し、何がどこに植わっているか把握できるようにする。



5. 樹名板の利活用法

- 樹木の名前を覚える際に、その場で実物を見ながら名前を覚えることができる。
- 毎日、樹木の名前を一種ずつ覚える一枝差しの習慣をはじめめる。

- 定期的に樹木の観察会を開き、実物と樹名板を見ながら照らし合わせていく。
- 公道に面した緑地の樹木に取り付けることで、近隣住民も楽しめるようにする。